

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 12 月 7 日

作成者：(株) 廃棄物工学研究所

	【施設名称】 廃食用油リサイクルプラント
	【事業主体】 松江市
	【所在地】 島根県松江市
	【運転開始年】 平成 14 年 3 月
原材料	廃食用油（一般家庭、事業所（給食センターなど））
生産物（種類）	バイオディーゼル燃料
利用方法	BDF 燃料 100%で塵芥車及びダンプに計 7 台使用
導入目的・経緯	家庭や事業所の廃食用油を回収することにより、宍道湖・中海・日本海とその流入河川への油流出を防ぎ、BDF 燃料化によって、ごみ収集車などの車両燃料へ再利用を行い、水質保護や環境に対する啓発を行なう事を目的とし、平成 13 年度に「環境を考える市民の会」の水質部会で廃食用油リサイクル活動の進め方、手法を検討し、市民の会・NPO・行政が連携をとりながら事業を開始した。
設備仕様	バイオディーゼル燃料製造装置 200 /日
稼働状況	【18 年度実績】 年間 163 日、5h / 日 処理量：32,600L/年 製造量：28,400L/年
経済性関連データ	総事業費：33,255 千円（補助なし） 【年間経費】 18 年度実績 7,221 千円（人件費含む）
導入効果	廃食用油の回収量も年々増加しており、水質汚染の防止、また、市民のリサイクル及びごみの減量に努める意識があがっている。
運営上の課題	回収量、精製量、使用量の需要と供給のバランス 将来の BDF 燃料使用先 燃料精製にあたるコスト削減
備考	http://www.city.matsue.shimane.jp/jumin/kankyou/gomi/abura.htm